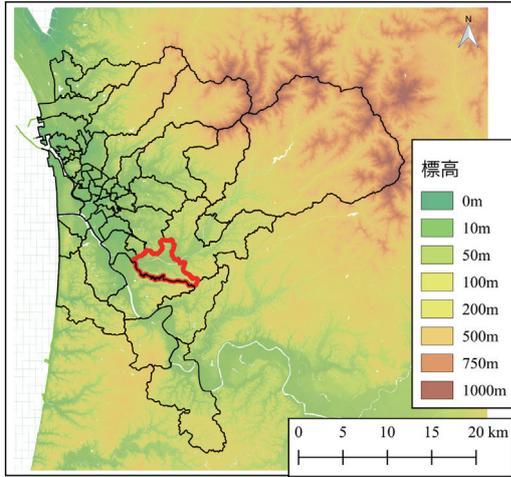


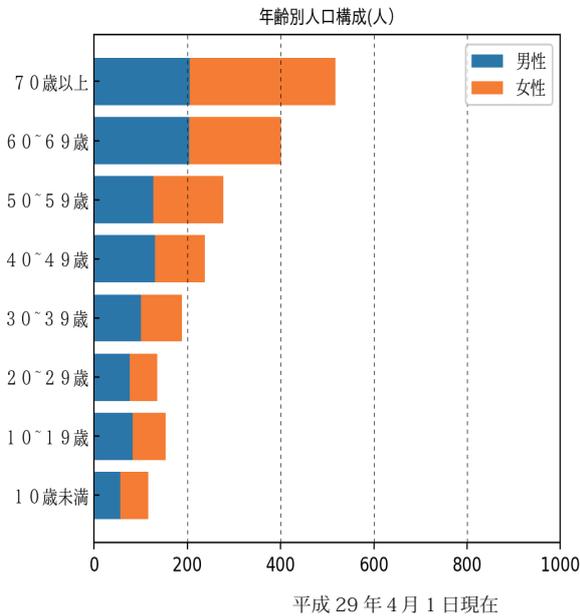
# 40：戸島小学校区

## 位置図



## 1 居住者の現況

人口	2,027 人
世帯数	766 世帯
65 歳以上人口	726 人
10 歳未満人口	116 人



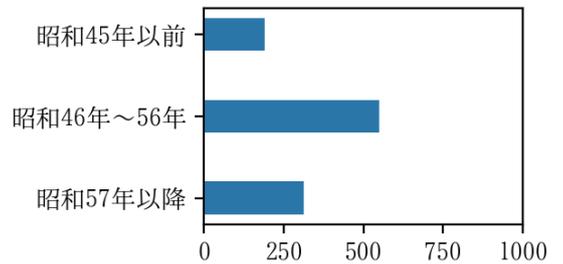
## 2 建物に関する指標

### ■ 構造別建物棟数(棟)

	棟
木造建物	1055
非木造建物	53

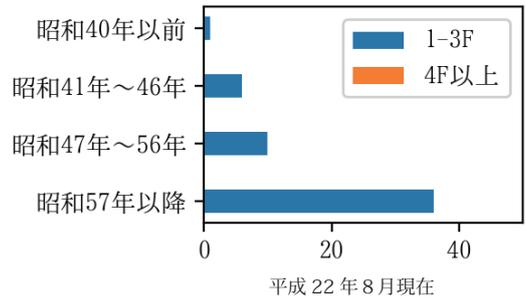
### ■ 建築年代別木造建物棟数(棟)

	棟
昭和57年以降	313
昭和46年～56年	551
昭和45年以前	191



### ■ 建築年代別非木造建物棟数(棟)

	1-3F	4F以上
昭和57年以降	36	0
昭和47年～56年	10	0
昭和41年～46年	6	0
昭和40年以前	1	0



## 自然的・社会的基盤指標

河辺地区の西部に位置し、学校区の中央を岩見川がほぼ東西に流下し、その兩岸に平地が広がる。北部および南部は丘陵～山地地形をなし、平地部との境界付近には土砂災害の危険性のある箇所が多く分布する。集落は概ね岩見川が形成した自然堤防などの平地部に多く分布する。秋田自動車道、日本海東北自動車道、および両者を結ぶ河辺 JCT や秋田空港 IC がある。河辺 JCT の東側は七曲臨空工業団地が立地している。65 歳以上の高齢者層は 36% である。建築物の多くは昭和 46 年以降の木造建物である。昭和 57 年以降の建築物は全体の 49% を占める。

### 3 自然災害に関する指標 (平成 29 年 3 月現在)

#### ■ 洪水

指定河川	岩見川	雄物川	
浸水面積 (%)	5.4	1.3	
最大浸水深 (m)	ランク 4	ランク 3	

#### ■ 土砂災害

##### \* 土砂災害危険箇所

種別	箇所数	主な指定箇所
急傾斜地崩壊危険箇所	13	白熊沢、戸島字上野、豊成、白熊、小高、前田、薬師沢 他
土石流危険渓流	9	ひだの沢、へダ沢、虚空蔵沢、小高沢、前田沢 他
地すべり危険箇所	0	該当箇所なし
なだれ危険箇所	16	大又、白熊沢、虚空蔵大台滝 他

##### \* 土砂災害警戒区域

種別	箇所数	主な指定箇所
土砂災害警戒区域	3	戸島字上野、白熊、北ノ沢駒坂台
うち土砂災害特別警戒区域をふくむもの		

#### ■ 地震および津波

##### \* 地震 (どこにでも起こりうる直下の地震: M6.9)

平均震度 (計測震度)	震度 6 弱 (5.78)	
震度 6 強以上となる面積 (%)	2	
液状化危険度ランク	4	
建物全壊率 (%)	3.5	

##### \* 津波 (秋田県沖の地震で A,B,C 領域が連動した場合)

浸水面積 (%)	(該当なし)
最大浸水深 (m)	(該当なし)

### 4 災害時要配慮者に関する指標 (平成 29 年 3 月現在)

#### ■ 要支援者関連施設 (収容施設のみ)

種別	施設数
高齢者支援	1
婦人幼児支援	0
障がい者等支援	0

#### ■ 幼稚園・保育所等

種別	施設数
保育所等	0
こども園	0
幼稚園	0

#### ■ 学童支援施設

種別	施設数
児童館等	1

#### ■ 学校等

種別	施設数
小学校	1
中学校	0
高等学校	0
大学・短大・高専	0
養護学校等	0

### 5 防火・防災施設に関する指標 (平成 29 年 3 月現在)

#### ■ 消防関連施設

消火栓数 (箇所)	103
防火水槽 (箇所)	20
消防車台数 (台)	10
消防ポンプ数 (台)	9
消防団員数 (人)	107

#### ■ 避難所/避難場所 (別表参照)

災害種別	施設数
洪水	2
土砂災害	2
地震	2
津波	0
福祉避難所	0
津波避難ビル	0
津波警報サイレン	0

#### ■ 救急・防災関連施設

種別	名称/箇所数
管轄消防署	秋田南消防署
管轄警察署	秋田東警察署
病院・医院数 (歯科を除く)	1
最寄りの救急告示病院	秋田赤十字病院
自主防災組織数	16

### 自然災害時の危険要素

岩見川の氾濫により、その左右岸の平地部で浸水すると想定されている。特に右岸側で秋田自動車道付近では、集落を含んで最大で 5m 未満の浸水になるものとされている。

土砂災害の危険性は高く、このうち 3 カ所 (急傾斜 3 カ所) が警戒区域等の指定を受けている。

地震動については、学校区全域で揺れやすさに大きな差は見られない。液状化の危険性は高い。津波による浸水は想定されていない。ただし、雄物川との合流点に近い岩見川河川敷などでは津波の遡上が懸念されるため、注意が必要である。

### 防災上の課題と対策

戸島小学校区は、岩見川下流域の平地部に分散する集落からなる。緊急輸送道路である秋田自動車道、日本海東北自動車道および秋田空港 IC、河辺 JCT、さらに県道秋田御所野雄和線があり、災害時輸送において交通上の要衝となっている。

地域の建物のほぼ半数は旧耐震建築物である。人口構成としては若年層ほど構成比率が下がる傾向を示している。指定避難所および緊急時一時避難場所は岩見川左岸にある戸島小学校1箇所であり、右岸側には指定避難施設はない。地域内の協同・相互補助の意識は高いと見られるが、さらに集落を単位とし、災害時の避難場所や避難の方法について、

近隣学校区の避難施設の利用を含め自主的な避難計画を検討し、避難訓練等によりその実効性を確認するなどの防災活動が望まれる。

■ 避難所・避難場所

施設	指定避難所	緊急避難場所					収容人員
		災害の種類（○のみ利用可）					
		洪水	がけ崩れ/ 土石流	地震	津波	大規模火災	
戸島小学校（体育館）	○	○	○	○	x	x	292人
戸島小学校グラウンド	x	○	○	○	x	x	7,085人

福祉避難所

施設	所在地	電話番号
(該当なし)		

津波避難ビル

施設	所在地	利用可能範囲	収容人員
(該当なし)			

津波警報サイレン

施設	所在地
(該当なし)	

